

H・P・T 通信



成和小HP

令和8年2月3日

第10号

校長 藤田郁夫

学校の「働き方改革」をすすめる

「学校はブラック?」、「先生達は働きすぎ?」、「残業代って出ないの?」……………。

昨今、学校の働き方改革がよくニュースの話題となります。今回はこのことについて情報発信をします。



教職員の業務過多は、近年の社会情勢の変化

に伴う、先生達の業務の多様化や複雑化が主な原因と考えられています。(部活動、学力向上対策、小学校英語など授業時数の増加、不登校・いじめ対応、保護者対応、個別の支援等々…) 過酷な勤務条件の中、私たち教職員が心身のゆとりを持ち、「子どもと向き合う時間」を確保するとともに、教員の人材確保や処遇改善に向けて、「教職員の働き方改革(時間外勤務月45時間の上限規制)」への取組や給特法の見直し(教職調整額の増額)の議論など、社会への理解と協力が求められるようになってきました。

成和小でも、佐賀県や唐津市教育委員会の指導を受けながら、右のような具体的な取組を行っています。

成和小学校の取組内容 (R7年度)

- ① 学年チーム(副担任)制の導入
- ② 朝の登校指導の廃止※先生は教室で児童を待つ
- ③ 成績の2期制※あゆみ配布は10月と3月
- ④ 成和まつりを課業日とする
- ⑤ 7時30分開門の周知と徹底
- ⑥ 加配教員の活用(TT、生徒指導、教科担任、英語)

成和小の全職員の時間外勤務の月平均は、先生方の日々の業務改善の取組が生かされ、特に本年度は大きく改善しており、「月45時間以下」が達成できています。

平成29年に中央教育審議会においてまとめられた「中間まとめ」の中で、

「これまで学校・教師が担ってきた代表的な業務の在り方に関する考え方」について、下の表のように示されました。

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
① 登下校に関する対応 ② 放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応 ③ 学校徴収金の徴収・管理 ④ 地域ボランティアとの連絡調整	⑤ 調査・統計等への回答等(事務職員等) ⑥ 児童生徒の休み時間における対応(輪番、地域ボランティア等) ⑦ 校内清掃(輪番、地域ボランティア等) ⑧ 部活動(部活動指導員等)	⑨ 給食時の対応(学級担任と栄養教諭等との連携等) ⑩ 授業準備(補助的業務へのサポートスタッフの参画等) ⑪ 学習評価や成績処理(補助的業務へのサポートスタッフの参画等) ⑫ 学校行事の準備・運営(事務職員等との連携、一部外部委託等) ⑬ 進路指導(事務職員や外部人材との連携・協力等) ⑭ 支援が必要な児童生徒・家庭への対応(専門スタッフとの連携・協力等)
※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。	部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。	

本当に大切なもの ～1/30 安全集会～



私たちは忘れない

今から31年前、平成7年1月31日午後3時ごろに、成和小学校1年生の男の子の大切な命が奪われました。男の子は、下校途中、知らない男の人の暴力に合い、大切な命を失くしてしまいました。大きな大人に小さな大切な命を奪われたのです。男の子のお家の方も、とても悲しく、くやしい思いをされ、その頃の成和小学校の子供たちや先生方、そして地域の方々も、涙にくれました。このようなことは二度とあってはなりません。そのために、この成和小学校では、毎年この時期に、安全集会を行っているのです。あのような悲しい事件が、もう二度と起きないように、児童には2つのことを伝えています。

1つ目は、**学校のきまりを守る**ということです。危険な場所に行かない、近づかない。知らない人について行きません。どんなに誘われても、何かあげると言われてもついて行ってはいけません。家に帰る時刻は守ります。きまりをしっかり守ることは、皆さんを危険から守ることにつながります。

2つ目は、**地域の人にしっかり挨拶をする**ことです。「挨拶のある街には、不審者はいない」と言われます。皆さんが、もし登下校中に、困ったり危険な目にあったりしたときに、挨拶をしている地域の人には、助けを求めやすいはずで。また、地域の人、皆さんがいつもと違う様子だと、「おや、おかしいぞ」「だいじょうぶかな」「何か困っている？」という目で見てくれるのです。

あなたの大切なものは何ですか？

あなたの大切なものは何ですか？

ゲーム？ お金？ 勉強？ 習い事？ ペット？
友だち？ 先生？ 家族？ 命？

ほぼ全員が「命」と答えます。なぜ命は大切なのでしょうか？ 校長先生は命が大切な理由を三つ考えました。

一つめは、命はなくなるともう二度と戻らないからです。人は死んだら、生き返ることはできないのです。ゲームのようにリセットはできないのです。

二つめは、命がなくなると本人が一番悲しいからです。これから先、辛いこともあるかもしれませんが、それよりも楽しいことは山ほどあります。でも、死んでしまったら何一つできません。

三つめは、命がなくなると家族や友だち、学校の先生方、地域の方々が悲しむからです。特に、家族は悲しくて毎日泣いて過ごすでしょう。そして、大切な我が子をなげ守れなかったのかと、いつも自分を責め続けるのです。

大事な命です。たった一つしかない命です。自分の命は自分で守るのです。そして、自分の命と一緒に、ほかの人の命も大切にしましょう。いじめは絶対に許しません。悪口や暴力はいけません。交通ルールを守って登下校します。